



## 【レベル5】相手の様子を見て、相手に喜ばれる声をかける

私が3年4年の教室と廊下の境目の戸のレールを掃除していた時のことです。3年生さんから「ありがとうございます」と、何人もの人から声をかけられました。嬉しいなと思いながら、4年教室へ行くと、「ぼくたちが難しいところを手伝ってくださってありがとうございます」と言われたのです。何て素敵な声をかけられる3・4年生なのでしょうね。きっと5・6年生がお手本になっているのでしょう。グラウンドや校内をきれいにしてくださっている用務員さんをはじめ、学校内だけでも、たくさんの方々のお陰でみなさんは暮らしています。それに気づき、自分から声をかけられるようになると、大変素晴らしいですね。それが自分の「見付ける力」「伝える力」を鍛えることにも繋がっていきます。

### だれにでも毎日チャンスがある

- ①朝起きてまずは家族に自分から
- ②集団登校の集合場所で自分から
- ③学校の玄関で自分から
- ④教室へ入るときに友達へ自分から

「おはよう」  
だけでも4回

いってきます

さようなら

しつれいします

いただきます

ありがとう

おねがいします

最初に「誰にでも毎日チャンスがある」と言いました。朝の「おはよう」だけでも全員が少なくとも4回はチャンスがあります。

①朝起きてまずは家族に自分から

②集団登校の集合場所で自分から

③学校の玄関で自分から

④教室へ入るときに友達へ自分から の4回です。

### だれにでも毎日チャンスがある

活かすかどうかは、自分次第！

たかが「あいさつ」

されど「あいさつ」=奥が深い

今学期はまず

「自分からあいさつ」にチャレンジ！

「みんなが笑顔で学び合える楽しい学校」

「行ってきます」や「いただきます」「さようなら」などを数えると、もっとたくさんチャンスがあります。それを活かすかどうかは、自分次第です。「たかが挨拶、されど挨拶」の意味、挨拶の奥深さが分かりましたか？ さあ、今学期はまずこの「自分から挨拶」にチャレンジし、「みんなが笑顔で学び合える楽しい学校」をつくっていきましょう。

レベルと称してランク付けする手法は、あまり褒められたものではありませんが、子供たちにとって分かりやすくするため、今回は敢えて使用させていただきました。今の自分を振り返り、さらに上を目指して取り組む姿を期待してのことです。

始業式から2週間、継続的に取り組んだところ、上記の①と③の家族と玄関先では「自分から挨拶できた」と答える子供が増えてきましたが、各ご家庭ではいかがでしょうか。また、②の集団登校の集合場所については、いかがでしょうか。先日の学校評価にも、「集合場所での無表情や挨拶の無さが気になる」とのご意見がありましたが、お世話になっている方や毎日顔を合わせる仲間に挨拶もせず、黙ったまま出発しているのであれば、とても残念で、悲しいものがあります。しかし、これまで声も発していなかったのに、急に挨拶することは、私たち大人でも大変な勇気が必要です。自分の殻を打ち破るには、大人の力添えが必要な子供もいるかもしれません。そのときは、後押しをお願いします。そして、もし、挨拶ができた瞬間を見かけられましたら、どうぞ、その勇気を讃えてください。

子供たちが自分からチャンスを生かしますよう、今学期も引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 「招魂祭」に参加して

本校グラウンド東側に忠魂碑が建立されていることをご存知でしょうか。昭和7年に除幕式が執り行われ、その後の紆余曲折を経て、昭和27年には、日清・日露等の22名に大東亜戦の106名を加えた戦病死者の副碑を配した今の姿となったようです。【参考文献：「忠魂碑」～建設から奉賛会の結成まで～】

戦後75年目となった今年も、8月30日に招魂祭が開催されました。コロナ対策のため、今年は会場がコミュニティセンターに変更となりましたが、自治会や遺族会等の皆様と共に参加して参りました。子供たちへ、地域の方々の方々の思いと共に、平和の尊さを語り継ぐ大切さを改めて感じました。

